第５回 全国ユース環境活動発表大会

2020年２月８日(土)、９日(日) の２日間、東京・渋谷区にある国連大学と東京駅近くの小ホールで「第５回全国ユース環境活動発表大会」が開催されました。表彰式には、中井徳太郎環境省総合環境政策統括官が出席し、あいさつをされました。

ご 挨 拶

環境省
総合環境政策統括官
中井 徳太郎

ただ今、御紹介いただきました環境省総合環境政策統括官の中井です。
第５回全国ユース環境活動発表大会 全国大会の閉会に当たり、ひとこと御挨拶申し上げます。
さて、本年度の大会は、全国８地区における地方大会に162団体の高校生の皆様が参加されたと聞いています。
そして、各地方大会で優秀な発表をされた16校が、本日、一堂に会して全国大会が開催されました。
いずれの高校も、素晴らしい発表をありがとうございました。発表いただいた活動は、環境を守り地域を元気にするもの、継続的な調査活動を環境活動につなげるもの、課題解決のための技術開発、国際協力、実践活動など、どれも甲乙つけがたく、皆様が日頃から話し合いながら、力を合わせて一生懸命活動してくれていることが伝わってきました。環境省として深く敬意を表するとともに、私も皆様から元気をいただきました。
御存知の通り、豊かな地球環境を守り、人類が地球上で持続的に発展していく社会を目指して、国際社会ではSDGs達成に向けた多くの取組が進められています。SDGsの達成に向けては、近代の大量生産・大量消費に基づく経済発展で私達が置き去りにしてきたものに気づき、課題を理解し、その上で、自分にできるところから行動してみる、この一人一人の「気づき、理解、行動」の積み重ねで持続可能な社会へと社会構造を改革していくことが期待されています。
本日発表された活動内容は、こうした世界的な流れに沿って、高校生の皆様が、日本から、各地域から、各高校から、SDGs達成を推進していくものです。誇りを持って活動を続けて下さるよう、私からもお願いいたします。そして、周囲の人々に活動内容を伝えて、巻き込んで、環境活動の輪を皆様から広げて下さることを期待いたします。
環境省では、地域の実情に合わせてSDGsの達成された持続的な発展を実現していく「地域循環共生圏」の構想を打ち出しています。地域の特性を活かし、環境・社会・経済が調和して地域が発展する、地域の未来社会の創造を、省をあげて推進しています。
私たち環境省は、日本の各地で、豊かな地球環境を持続可能なものとして未来に残そうとする皆様の取組を応援します。皆様と一緒に、持続可能な社会を創っていかなければならないと、私も決意を新たにいたしました。
最後になりますが、地方大会も含め、素晴らしい活動を行っている全国の高校生の皆様、生徒に寄り添い活動を支えていただいた先生方、そして本日御来場の方々のますますの御活躍を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。

第5回
全国ユース
環境活動発表大会
全国大会

表彰式

上段） 贈賞名
中段） 受賞高校名
下段） 贈呈者名

環境大臣賞
広島県立世羅高等学校
環境省総合環境政策統括官
中井徳太郎

環境再生保全機構理事長賞
京都府立木津高等学校
独立行政法人環境再生保全機構
理事長　小辻智之

国連大学サステイナビリティ高等研究所所長賞
青森県立名久井農業高等学校
国連大学サステイナビリティ高等研究所
シニアプログラムコーディネーター 渡辺綱男

読売新聞社賞
北海道美幌高等学校
読売新聞東京本社
教育ネットワーク事務局事務局長 吉池亮

高校生選考賞
愛媛県立上浮穴高等学校
環境省総合環境政策統括官
中井徳太郎

先生選考賞
石川県立翠星高等学校
環境省総合環境政策統括官
中井徳太郎